

WIENER SÄNGER KNABEN

ウィーン少年合唱団

カペルマイスター：マノロ・カニン Kapellmeister: Manolo Cagnin

6/11 [木]

19:00 開演 18:30 開場 (21:00 終演予定)

iichiko 総合文化センター
iichiko グランシアタ

★VIP ¥10,000 SS ¥7,700 S ¥6,600
A ¥5,500 B ¥3,800

★VIP席特典：最前列中央(限定12席)
ウィーン少年合唱団 直筆サイン入り公演パンフレット付き

[チケットお申込先]

iichiko 総合文化センター

・ホームページ
・1階インフォメーション(～3/31まで) ・4階事務室(4/1～)

チケットぴあ (Pコード：322-101)

トキハ会館3階プレイガイド

エトウ南海堂

“World Hits” ～音楽でめぐる世界旅行～

第1部

♪ ベートーヴェン：交響曲第9番より〈歓喜の歌〉

♪ オルフ：カンタータ《カルミナ・ブラーナ》より
〈おお、運命の女神よ〉

♪ ロイド・ウェバー：《レクイエム》より
〈ピエ・イエズ〉

♪ ヴィクトリア：闇となりぬ

♪ ロッシーニ：三つの聖歌より〈愛〉

♪ ヴェルディ：オペラ《ナブッコ》より
〈行け、わが想いよ、黄金の翼に乗って〉

本日のソロ曲

♪ 藤倉大：Moon Boat(月の舟)
[住友生命保険相互会社、
ジャパン・アーツ共同委嘱/世界初演]

♪ ヨーゼフ・シュトラウス：ポルカ〈上機嫌〉

♪ J. シュトラウスII：ワルツ〈皇帝円舞曲〉

第2部

♪ ネルソン：オン・ザ・ロード・アゲイン

♪ メンケン：ディズニー映画「アラジン」より
〈ホール・ニュー・ワールド〉

♪ ホーキンス：映画「天使にラブソングを2」より
〈オー・ハッピー・デイ〉

♪ ニューリー、ブリカス：
ミュージカル「ドーランの叫び、観客の匂い」より
〈ア・ワンダフル・デイ・ライク・トゥデイ〉

♪ アンダーソン、ウルヴァーズ(ABBA)：マンマ・ミーア

♪ アンダーソン、ウルヴァーズ(ABBA)：
サンキュー・フォー・ザ・ミュージック

♪ 岡野真一：ふるさと

♪ 上皇陛下(作詞)/上皇后陛下(作曲)：歌声の響

♪ 成田為三：浜辺の歌

♪ ヨーゼフ・シュトラウス：ポルカ〈休暇旅行で〉

♪ J. シュトラウスIII：ワルツ〈美しく青きドナウ〉

主催：TOSテレビ大分 営業部 097-537-5515(平日10時～17時)

共催：iichiko 総合文化センター

[公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団]

一般発売

3/26 木 10:00～

2026年はブルックナー組が来日! ウィーン少年合唱団 Wiener Sängerknaben

カペルマイスター：マノロ・カニン Kapellmeister: Manolo Cagnin

ウィーンの象徴、音楽大使として世界中の人々の心を癒す天使たち

ウィーン少年合唱団の創立は1498年(日本では戦国時代の明応7年)、皇帝マクシミリアン1世により宮廷音楽隊で歌う6名の少年が集められたことに始まり、ウィーン宮廷音楽礼拝堂・宮廷少年合唱団、そしてウィーン少年合唱団と、名称を変えて活動を継承してきた。巨匠トスカニーニが彼らのコーラスを評して《天使の歌声》と命名したことも有名。世界の数ある少年(少女)合唱団の中でも抜群の人気と実力を誇り、10歳から14歳の約100名のメンバーは全員アウガルテン宮殿で生活している。ハイドン、モーツァルト、シューベルト、ブルックナーとウィーン少年合唱団にゆかりのある作曲家の名がついた4つのグループに分かれ、ヨーロッパ各国、アメリカ、アジア、オセアニア

など世界中のコンサートに出演。本拠地ウィーンでもウィーン国立歌劇場やフォルクスオーパー、ザルツブルク音楽祭やウィーン・フィルのニューイヤーコンサートへの出演を重ね、ウィーンを代表する団体のひとつとして活躍している。また、宮廷礼拝堂のミサで歌うことは今も昔もウィーン少年合唱団の使命とされている。2017年にオーストリアのUNESCO無形文化遺産に登録され、2024年には芸術のおよび社会的に傑出した業績を残した団体や著名人に贈られる欧州で最も重要な賞のひとつ「ヨーロッパ文化賞」をウィーン少女合唱団と共同で受賞。日本との繋がりが深く、2025年には初来日から70周年の節目を迎えた。2026年はブルックナー組が来日。

ウィーン少年合唱団 ブルックナー組



Andrik
アンドリック



Antonio
アントニオ



Apollo
アポロ



Christian
クリスティアン



Damian
ダミアン



Gabriel
ガブリエル



Jannis
ヤニス



Konstantin
コンスタンティン



Leopold
レオポルト



Matteo
マッテオ



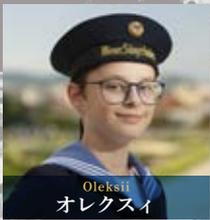
Matteo
マッテオ



Matthias
マティアス



Maximilian
マクシミリアン



Oleksi
オレクシ



Omer
エーマー



Partha
バルタ



Patrick
パトリック



Philipp
フィリップ



Raphaël
ラファエル



Sascha
サッサ



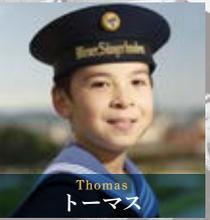
Sol
ゾール



Taneo
タネオ



Tempu
テンブウ



Thomas
トーマス



マノロ・カニン (指揮者 / カペルマイスター)
Manolo Cagnin (Conductor / Kapellmeister)

イタリアのトレビーゾ生まれ。幼少期よりヴェネツィア音楽院でヴァイオリンとヴィオラを学ぶ。その後、ヴェネツィアとミラノで合唱、指揮、作曲を学び、ライブツィヒでクルト・マズアとファビオ・ルージに師事した。ライブツィヒでは聖トーマス教会合唱団の音楽監督ゲオルク・クリストフ・ビラーのアシスタントとなり、2007年にはゲヴァントハウス管弦楽団による《カルメン》の音楽監督を務める。2008年、ウィーン少年合唱団のツアーグループのひとつ、ブルックナー組のカペルマイスターに就任。以来、世界各地への多数のツアーで合唱団を指揮。ウィーンの王宮礼拝堂で行われるミサやウィーン国立歌劇場で上演されるオペラへの出演、さらに音声・映像収録のための指導を行っている。ウィーン少年合唱団とは2015年、2019年に続き、3度目の来日となる。